ワークシート

レポート「02.本務教員_07_B^07_1」	
シート「女性教員割合(経年)」	
「分析レポート操作マニュアル」p.7 (レポート、シートの選	択)

Q1.国公立大学等の女性教員割合は、2012年から 2018年の間に何%から何%に変化したか。

推定:	実数:
メモ	

レポート「02.本務教員_07_B^07_1」 シート「女性教員割合(経年)」 「分析レポート操作マニュアル」p.8(スライサーの選択)

Q2. 国立大学の女性教員割合は、2012年から2018年の間に何%から何%に変化したか。

推定:	実数:
メモ	

レポート「04.学部学科別学生数と女性割合・入学倍率_08_D」 シート「男女別学生数・女性学生割合」 「分析レポート操作マニュアル」p.8(スライサーの選択)

Q.3<u>「主たる学部系統」を「人文科学」・「社会科学」</u>のみに限定した場合、<u>2018 年</u>における国公立大学の 学部課程の女性学生割合は、「**関東**| **と「九州・沖縄**| のどちらが高いか。

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
推定:	実数:	
メモ		

レポート「04.学部学科別学生数と女性割合・入学倍率_08_D」 シート「男女別学生数・女性学生割合」 「分析レポート操作マニュアル」p.9 (グラフのソート)、p.10 (ドリルダウン・アップ)

Q.4 <u>山形大学工学部</u>の次の各学科について、<u>2016 年</u>における女性学生割合が高い順に並べよ。 応用生命システム工学、バイオ化学工学、機能高分子工学、物質化学工学、情報科学、 電気電子工学、機械システム工学

推定:	実数:
メモ	

ワークシート

レポート「02.本務教員_07_B^07_1」 シート「女性教員割合(経年)」 「分析レポート操作マニュアル」p.7(レポート、シートの選択)

Q1.国公立大学等の女性教員割合は、2012年から2018年の間に何%から何%に変化したか。

推定: 実数:16.4%から19.4%

メモ スライサー等を選択せずに読み取り可能。

レポート「02.本務教員_07_B^07_1」 シート「女性教員割合(経年)」 「分析レポート操作マニュアル」p.8(スライサーの選択)

Q2. 国立大学の女性教員割合は、2012年から2018年の間に何%から何%に変化したか。

推定: 実数:14.0%から17.2%

メモ 設置種別スライサーにより国立大学のみを選択。

レポート「04.学部学科別学生数と女性割合・入学倍率_08_D」 シート「男女別学生数・女性学生割合」 「分析レポート操作マニュアル」p.8(スライサーの選択)

Q.3<u>「主たる学部系統」を「人文科学」・「社会科学」</u>のみに限定した場合、<u>2018 年</u>における国公立大学の 学部課程の女性学生割合は、「**関東」と「九州・沖縄**」のどちらが高いか。

推定: 実数:九州・沖縄 49.5%(>関東 41.9%)

メモ 主たる学部系統スライサーにより人文科学・社会科学のみを選択。 さらに所在地域スライサーにより「関東」と「九州・沖縄」を選択して比較。

レポート「04.学部学科別学生数と女性割合・入学倍率_08_D」 シート「男女別学生数・女性学生割合」 「分析レポート操作マニュアル」p.9 (グラフのソート)、p.10 (ドリルダウン・アップ)

Q.4 <u>山形大学工学部</u>の次の各学科について、**2016 年**における女性学生割合が高い順に並べよ。 応用生命システム工学、バイオ化学工学、機能高分子工学、物質化学工学、情報科学、 電気電子工学、機械システム工学

推定: バイオ、応用生命、物質、高分子、 実数: 情報、機械、電気電子

メモ 学校名スライサーで「山形大学」を選択。 学部名スライサーで学部名を選択。 グラフおよび表を学科レベルにドリルダウン。 さらに、ソートにより女性学生割合順に。